**第〇学年〇組　道徳科学習指導案**

北九州市立〇〇〇学校

指導者　〇〇　〇〇

１　主題名　　○○○○

**内容項目**　△○－○【　　　　　】○○○○○○○○○○○○○○○○○

例）内容項目　低Ｂ－９【友情，信頼】友達と仲よくし，助け合うこと。

２　教材名　　「　　　　　　」　（出典：○○○○○）

学習指導要領の表記の通りに記入する。

３　指導にあたって

　〇 （本主題は、）～～

本時で扱う内容項目（道徳的価値）をどのように捉えているかを記述したり、本時の授業のねらいについて詳しく記述したりする。

価値の捉え

　〇　本学級の児童（生徒）は、～～

児童・生徒観

・本時で扱う内容項目に関わる児童（生徒）の実態を記述する。

・別葉との関連を踏まえ、他教科や学校行事等で、どのような道徳教育を行ってきたか等を記述する。

・「～ができない。」「～に課題が残る。」という否定的な実態だけではなく、「（できていることを踏まえて）子どものよさを

伸ばす。」という視点で記述する。

〇　本教材は、～～

授業で扱う教材分析について記述する。

あらすじではなく、その教材のよさや、

その教材を使用するポイントについて記述する。

教材観

　〇　本時の指導にあたっては、まず、導入では、～～する。展開前段では、～～する。展開後段では、～～する。終末では、～～する。

指導観

・主体的・対話的で深い学びの実現に向かうための指導方法を記述する。

・本時の授業の展開に関して記述する。

導入、展開前段、展開後段、終末の流れの中で、指導上の留意点や、

授業を展開する上でのポイントを記述する。

４　本時の学習

（１）日時　令和〇年〇月〇日（〇）〇校時　於　〇年〇組教室

（２）ねらい

～～する活動を通して、～～に気付き、～～しようとする（判断力・心情・実践意欲と態度）～を育てる。

（３）準備

　　教師：〇〇〇、〇〇〇

主体的・対話的で深い学びの実現に向かうための留意点を記述する。

　　児童（生徒）：〇〇〇

（４）展開

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 学習活動 | 主な発問・　児童（生徒）の心のふくらみ | 〇　指導・支援上の留意点 |
| 【導入】１　～～する。発問は、四角。中心発問は、二重四角で囲む。【展開前段】２　～～する。（１）（２）【展開後段】３　～～する。【終末】４　～～する。 | ・・予想される児童（生徒）の思考が分かる発言や、思いのふくらみを記載する。・・・・・・・・ | ○　～（手だて）～することで、～できるようにする。・それぞれの学習活動に対し１～２個程度記述する。・「～することで」の部分は主語を教師とし、教師が指導・支援するという立場で記述する。○　～～することで、～できるようにする。○　～～することで、～できるようにする。（本時で活用する場合）ＧＩＧＡ端末の活用についても明記する。○　～～することで、～できるようにする。必要に応じ、努力を要する子どもへの手だても記述する。○　～～することで、～できるようにする。 |

学校の実情に応じて、内容を変更してもよい。